

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
M&Eマネジメント実務特論 1		Z 130	1 単位	2 学期	ハイフレックス
Applied Media and Entertainment Management 1					
科 目 分 野		課 程 領 域			
M&Eマネジメント		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
北谷賢司 石井大貴	-	メールアポイントにて随時			

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
M&E産業要論	M&Eマネジメント実務特論2	M&Eコンテンツ法務要論
M&Eコンテンツ法務特論1・2	M&Eコンテンツ契約実務特論	

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

社会のデジタル化に伴い業態の変革を余儀なくされているレコード産業の現況と将来の産業構造について、音楽出版企業、著作権管理、演奏家の視座からの分析を履修、複数のケース・スタディーを介して音楽産業構造上の問題点を考査する。更に、世界規模で急伸する360度ビジネスモデル、ライブ興行、マーチャンダイジング事業、ファンクラブ事業、チケット・サービス事業を解析する。

到達（修得）目標

メディア&エンタテインメント業界において特に音楽産業におけるビジネスモデルの考察並びに興業ビジネスの現況についての理解を深め、実際のケースを元にして、ライブ・エンタテインメント・ビジネスに関する専門力を高めることができる。

受講対象者

イノベーションマネジメント全受講生

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

・授業内にてショートレポートの提出及び授業内での貢献度が極めて重要

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コ ン ピ テ ン シ 修 得 目 標

知識領域（Y軸）		ヒューマンパワー（Z軸）		思考プロセス（X軸）	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力		X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	事例紹介	演習	配布資料

評 価 の 方 法

(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
出席・授業態度	20%	クラス貢献では各自の質問の量と質を加味する。 進捗にあわせてショートレポートとしてその都度課題を与える場合がある。 最終試験は本講座の理解度を確認するために行う。 毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献	20%	
最終試験	60%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備 考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	講義資料を適時配布 『エンタメの未来2031』北谷賢司(日経BP) 『JASRAC概論』 紋谷暢男(日本評論社)	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『エンターテインメント・ビジネスの未来』北谷賢司(日経BP)	
参 考 U R L		
適宜紹介予定		

コマ	学 習 内 容	事前準備・課題	担当者	時間
1	【国内外における音楽産業の歴史と現況】	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント			
2	【音楽産業の360度展開】 音楽マーチャンダイジング ファンクラブビジネスの構造とトレンド CDビジネス・音楽配信ビジネスの現状分析 クラウド時代における産業構造の変化について	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト:限部 圭介氏(株式会社 日音 メディア部 副部長 エグゼクティブプロデューサー)		
3	【著作権等管理事業の現実と矛盾】 音楽著作権・JASRACの仕組み等に触れながら、著作権・著作隣接権及び実演家を守るための取り組みについて学ぶ。JASRACを含む世界の著作権団体の取り組みについて具体的事例を挙げながら解説する	配布資料の熟読	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト: 河邊 基晴 氏 (JASRAC 常務理事) 予定		
4	【著作権管理事業①】 著作権等管理事業法成立の背景 音楽産業における著作権の位置付けについて	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト: 荒川 祐二 氏 (株式会社 NexTone 代表取締役COO)		
5	【著作権管理事業②】 NexToneのビジネスモデルについて 日本の音楽産業と世界の音楽産業	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト: 荒川 祐二 氏 (株式会社 NexTone 代表取締役COO)		
6	【音楽事業の特性と課題について】 国内外の事例を踏まえ、音楽事業における特性と課題について解説する	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト:関 佳裕 氏 (株式会社LDH JAPAN 取締役CRO)		
7	【音楽デジタル配信事業の構造と課題】	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	ゲスト:水野 雄太 氏 (エイベックス・エンタテインメント株式会社 事業開発本部ゼネラルマネージャー)		
8	【アーティストマネジメントビジネス】 アーティストマネジメントビジネスのこれから	前回の復習	北谷 石井	90分
	イベント	最終テスト / ゲスト 未定		

※ゲストスピーカーは予定、変更となる場合があります。
 ※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。

2025.06